TAKE FREE

ご自由にお持ちください

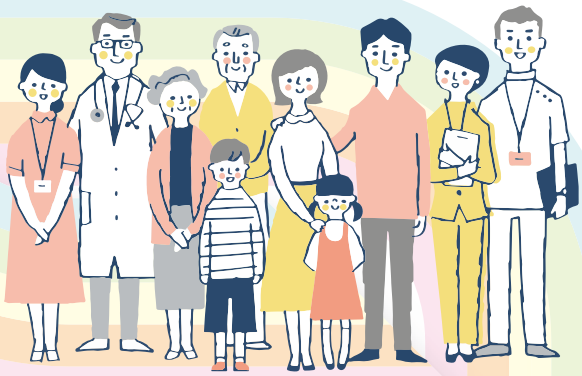
虹

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177（代表）
http://www.mito.jrc.or.jp

2024.12
Vol.49



日本赤十字社茨城県支部、常陸太田市　共催
水府総合センターでの研修風景

当院は、日本赤十字社の病院として、災害が発生した際には、傷病者の受入れや、被災地へ日赤救護班を派遣できる体制を整えています。また、1997年には茨城県の災害拠点病院に指定され、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有しています。

P1-3：水戸日赤の災害救護～日々の備えと活動～　P3：当院看護師が人命救助で表彰、当院職員が優秀勤労障害者として表彰　P4：登録医の紹介

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　水戸赤十字病院

当院の情報はこちらから！

HP　Instagram　Facebook

水戸赤十字病院の災害救護～日々の備えと活動～

日 赤救護班は、災害時に迅速に医療支援を行うために編成されたチームです

被災地に派遣され、救護所での診療や避難所の巡回診療、環境調査などを行います。

当院では、日赤救護班6班を編成し、派遣体制を確立しています。

各班は、班長の医師1名と、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、連絡調整などを担う主事2名の7名で構成されます。

令和6年7月9日（火）、当院で救護班員の任命式が執り行われ、13名の職員が新たに任命されました。

▲捨田利災害・国際協力対策室長（左）から、本年度新たに救護班員に任命された職員を代表して、小根山医師（右）へ任命書が授与されました。

救 護班員は、平時から救護訓練や研修を受け、災害に備えています

令和6年度は、7月、9月、10月の3回にわたって研修を行い、次回は1月31日に実施予定です。これらの研修では、基礎から応用まで段階的に講義・訓練を行い、救護活動に必要な知識と技術を養います。

▲救護班は多職種からなるチームです。迅速な医療支援を行うには、メンバー間の連携とそのための情報共有が欠かせません。

▲看護師がトリアージを行い、主事が記録します。互いをサポートしながら、チーム一丸となって救護活動にあたります。

▲避難所では刻一刻と状況が変化します。情報の記録、整理、共有、更新は現場において非常に重要です。

◀携行する資機材を、救護班員全員で確認し、被災地での活動に備えます。

▶常陸太田市と連携して実施された10月の研修会には、約100名が参加し、震度6強の地震を想定したシミュレーション訓練が行われました。

◀シミュレーション訓練後は、各チームで反省点・改善点を出し合い、次のシミュレーションに生かしました。

▶常陸太田市の研修会には、日赤災害医療コーディネーター（鈴木救急科部長）も参加。各救護班間の連絡調整や、活動の指揮・統制を担いました。

能 登半島地震（令和６年１月発生）では、当院の医療支援チームが現地へ派遣され、救護活動を行いました

▲地震発生後、当院から最初に被災地へと向かったDMAT（災害派遣医療チーム）

▲被災地の現地対策本部で情報を精査する災害医療コーディネートチーム

▲避難所を巡回し診療を行う救護班

災 害拠点病院として、日々の研修とともに災害に備え、行っていることがあります

災害拠点病院は、大規模災害時において被災地内の医療活動の拠点となる病院です。そのため、当院の病棟は耐震構造であり、ヘリポートの整備や、医薬品、食料、飲料水、簡易ベッドなどの備蓄も行っています。

▲災害備蓄倉庫には、救護資機材のほか、患者などの食料、飲料などを備蓄しています。

▲ヘリポートを整備し、実際にヘリコプターに救護班員が搭乗する搭乗訓練も実施しています。

当院看護師が人命救助で表彰されました

令和６年11月17日（日）、当院の鈴木裕理看護師が、心肺停止の男性を救助したとして、水戸市消防局南消防署長から感謝状を授与されました。

鈴木看護師は、水戸市路上で発生した救急事故において、現場に居合わせた方々と連携し、心臓マッサージとAEDによる応急処置を行い、男性は一命を取りとめました。

鈴木看護師は表彰を受け、「とても光栄に思う。当院で毎年実施している心臓マッサージ研修のおかげで、落ち着いて行動に移すことができた」と話しました。

当院職員が優秀勤労障害者として表彰されました

令和６年11月27日（水）、当院職員の宮崎健二さん（勤続20年）が、優秀勤労障害者として表彰を受けました。優秀勤労障害者の表彰は、茨城県と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部の共催で行われ、宮崎さんは『模範的な職業人であり同僚等から敬愛されている職員』として表彰されました。

今後も当院は、障害者雇用に積極的に取り組み、多様化する働き方に対応する職場作りと社会貢献に尽力してまいります。

水戸赤十字病院登録医紹介

当院の基本方針である「地域に愛され、信頼される病院」「安全かつ良質な医療の提供」を
推進するための心強いパートナーとなる登録医の先生をご紹介します。

いちょう坂クリニック

院　長 中島　道也 先生

副院長 中島　裕也 先生

当院は消化器疾患や糖尿病などの生活習慣病、甲状腺性疾患等の内分泌疾患の治療を行うと同時に、健康診断や人間ドック、予防注射等を行い早期発見と早期治療を目標としています。的確な診断とわかりやすい説明で、地域の皆様の健康的な生活をサポートいたします。

また、専門知識を持った産業医が企業の健康面での問題に対応いたします。

長時間労働に対する医師による面接指導についてもご相談ください。

≪当院の特徴≫

〇JR水戸駅徒歩3分！
〇診療は昼13時、夜18時まで。昼休み、お仕事帰りに受診できます！
〇乳腺超音波検査は女性技師対応可能
〇木曜日に糖尿病専門外来の診療を行います

調子が悪い、気になるところがある…。そんなときは、どうぞ当院に足を運んでください。
地域に根差した「かかりつけ医」として、スタッフ一同心よりお待ちしております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	休
15:00～18:00	●	●	休	●	●	休	休

*受付時間は、診療時間の15分前です

住　所：水戸市三の丸1-4-73
　　水戸京成ビル1階
ＴＥＬ：029-306-7251
診療科：内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー疾患内科

HPはこちらから!

水戸赤十字病院の“新リニアック棟”が12月にオープンしました！

新たなリニアック装置『VitalBeam®』を導入

がん病巣に対して、放射線をピンポイントで照射することにより、周囲の正常な細胞への影響を軽減し、より安全性の高い治療を行います。

当院のラジオ番組 放送中です!!

“水戸赤十字病院の今日もおだいじに”
LuckyFM茨城放送 毎週金曜日11:20から

LuckyFM 茨城放送

《 1月の放送予定 》

放送日	1月3日	1月10日	1月17日	1月24日	1月31日
テーマ	血液型	放射線治療（リニアック）	災害救護	感染予防	周産期診療
出　演	臨床検査技師	診療放射線技師・看護師	救急科医	看護師	産婦人科医

2024年12月から、

結腸がんに対するロボット支援手術を
保険診療で開始します！

近日特集予定!!

1分アンケートにご協力をお願いします!

こちらのQRコードを読み取ってご回答いただけます。
病院広報誌「虹」をより良くするために、皆さまのお声をお聞かせください。